



2021年1月27日

各 位

会 社 名 鴻 池 運 輸 株 式 会 社  
代 表 者 名 代表取締役兼社長執行役員 鴻池 忠彦  
(コード番号：9025 東証第一部)  
問 合 せ 先 代表取締役兼常務執行役員 竹島 徹郎  
経営企画本部本部長  
TEL 03-3575-5753

**「新デジタル技術導入でグランドハンドリング業務効率化へ  
関空でパレットドローリー位置情報把握の実証実験を開始  
イスラエルのスタートアップ企業製 位置測位センサーを活用、2021年1月22日より実施」**

当社は、関西エアポート株式会社より許可を得た関西国際空港制限区域内で、2021年1月22日より約1年間、hoopo Systems Ltd. (本社：イスラエル、CEO Ittay Hayut(イタイ・ハユート)) が開発した位置測位センサーを活用し、グランドハンドリング業務で使用するパレットドローリーの位置情報を把握する実証実験を実施します。なお、hoopo 製センサーを使用した日本国内の空港における実験は、今回が初めてです。

つきましては、本日添付のニュースリリースを行いましたので、お知らせいたします。

以 上

新デジタル技術導入でグランドハンドリング業務効率化へ

## 関空でパレットドーリー位置情報把握の実証実験を開始

イスラエルのスタートアップ企業製 位置測位センサーを活用、2021年1月22日より実施

鴻池運輸株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役兼社長執行役員 鴻池 忠彦、以下 鴻池運輸）は、関西エアポート株式会社より許可を得た関西国際空港制限区域内で、2021年1月22日より約1年間、hoopo Systems Ltd.（本社：イスラエル、CEO Ittay Hayut（イタイ・ハユート）、以下 hoopo（フーポ）<sup>※1</sup>）が開発した位置測位センサーを活用し、グランドハンドリング業務<sup>※2</sup>で使用するパレットドーリー（以下 ドーリー）<sup>※3</sup>の位置情報を把握する実証実験を実施します。なお、hoopo 製センサーを使用した日本国内の空港における実験は、今回が初めてです。

※1 hoopo : <https://www.hoopo.tech/>

※2 航空機への手荷物・貨物・郵便物の搭降載や搬送、旅客手荷物の仕分けをはじめとする航空輸送に必要な、地上でのさまざまな取り扱い業務

※3 航空機に搭載するコンテナを運搬するための台車。次ページの写真を参照ください

これまで鴻池運輸は、ベンチャーキャピタル「グローバルIoTテクノロジーベンチャーズ株式会社」（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 安達 俊久）の運営するロボティクス・AIなどの先端技術分野のベンチャーファンド「GiTV Fund I Investment, L.P.（以下 GiTV）」に2019年4月に出資<sup>※4</sup>し、現場力強化や新たな中核事業の発掘に向けて、世界中のスタートアップ企業との接点を拡大してきました。hoopo は、その GiTV が出資する企業の1社で、今回の実証実験は鴻池運輸が GiTV を介した新技術の導入・活用による生産性向上や作業環境改善などに向けた取り組みです。

※4 2019年4月24日報道発表 : <https://ssl4.eir-parts.net/doc/9025/tdnet/1694667/00.pdf>

この実証実験は、関西国際空港および羽田空港にて、グランドハンドリング業務を行っている KONOIKE グループの株式会社 K グランドサービス（以下 KGS）より、空いているドーリーを探索する手間を省き、省力化したいという現場からの改善ニーズを受けて検討を重ね、実施に至りました。特に繁忙期においては、空港内のドーリーの使用率が上がり、空きドーリーの探索にその都度約20～30分も要するなど、作業員への負担と効率低下が課題となっています。そこで、各ドーリーの現在位置をリアルタイムに把握（可視化）することにより、この課題を解消し、作業効率の大幅改善が期待されます。

今後は、実験で検証するドーリーの位置測位の精度検証や位置情報データの蓄積および分析結果を踏まえ、KGS 他グランドハンドリング業務を提供するグループ各社へ水平展開を図るとともに、当システムの利用により得られるビッグデータを用いた業務効率化を目指していきます。

現在、KONOIKE グループの空港関連事業は、新型コロナウイルスの影響による航空需要減少に伴う低迷状態が続いていますが、アフターコロナの航空需要回復を見据え、新技術導入によるデジタルトランスフォーメーション（DX）の促進により、グランドハンドリング業務の効率化、労働環境改善を推進することで、引き続き業務能力の強化に努めてまいります。

## <実証実験の概要>

方法	KGSが保有するドーリー約120台にhoopo製の位置測位センサーを装着し、同センサーの機能性を検証
検証内容	①ドーリーの位置測位の精度 ②位置情報データの蓄積（ビッグデータの獲得）および分析
期間	2021年1月22日から約1年間
場所	関西国際空港制限区域内
hoopo製位置測位センサーの特徴	①規格：LPWA（Low Power Wide Area）- LoRa™とLTE ②バッテリーの寿命：約2年 ※5 通信頻度によって異なる ③屋外での最短測位頻度（GPS通信頻度）：10秒 ④屋内でのWi-Fi測位 ※6 2020年8月25日、鴻池運輸調べ

### ■ドーリー ※イメージ



### ■実験に使用する hoopo 製 位置測位センサー



(報道関係者様お問い合わせ先) 広報室 古屋、<sup>じくはら</sup> 竺原 tel:03-3575-5753

### ■hoopo Systems Ltd.の概要

商号	Hoopo Systems Ltd. ("hoopo")		
代表者	CEO & Co-founder Ittay Hayut	会社設立	2016年（平成28年）10月
本社	Silo building, Glil-Yam, Israel		
資本金	総調達額：5百万USドル以上 (2020年12月25日現在)	従業員数	20名 (2020年12月25日現在)
事業内容	最先端の低消費電力位置追跡ソリューションの提供 国内代理店：株式会社アイランドシックス		

### ■鴻池運輸株式会社の概要 (<https://www.konoike.net/>)

KONOIKE グループは、物流の枠を超え、製造、医療、空港業務などを通じ、社会課題の解決と革新に挑戦し続ける、プロフェッショナルサービス集団です。

商号	鴻池運輸株式会社 ※東証1部	代表者	代表取締役兼社長執行役員 鴻池 忠彦
大阪本社	大阪府中央区伏見町4-3-9	東京本社	東京都中央区銀座6-10-1
創業	1880（明治13）年5月	会社設立	1945（昭和20）年5月30日
資本金	1,723百万円 (2020年3月31日現在)	従業員数	約25,000名（連結） (2020年3月31日現在) ※臨時雇用者数を含む
売上高	310,834百万円（連結、20年3月期）	営業利益	9,686百万円（連結、20年3月期）
事業内容	請負サービス(製造業界向け、サービス業界向け)、物流サービス(国内物流、国際物流)		

以上